

キーワードを入力 | Q

マイページ

購入履歴


[トップ](#) | [速報](#) | [ライブ](#) | [個人](#) | [オリジナル](#) | [みんなの意見](#) | [ランキング](#) | [有料](#)
[新着記事](#) | [オーサー一覧](#) | [コメンテーター一覧](#)

## 乳がん検診マンモグラフィーの受診は慎重に、米医学界が弊害を懸念

 田中めぐみ | 米環境・社会問題研究者  
 2017/1/14(土) 0:43


(ペイレシメーجز/アフロ)

近年、米医学界ではマンモグラフィーの効果と弊害に関する議論が活発になっています。マンモグラフィーは一定の効果があるものの、一般に考えられているほど大きな効果はなく、むしろ、過剰診断や過剰治療など弊害が多いとする研究結果が欧米で相次いで出ています。

### 弊害を懸念する医学論文

今月、デンマークの研究チームが米医学誌アナルズ・オブ・インターナル・メディシンに発表した論文によると、1980年から2010年までの間に乳がんと診断された女性のデータを調査したところ、マンモグラフィーを受けた人と受けなかった人で進行がんの発生件数に差はなかったことが判明。むしろ、マンモグラフィーで乳がんと診断された女性の3人にひとり、放っておいても症状が出ない腫瘍を乳がんとして過剰診断されていた可能性が高いとしています。

2014年には、カナダの研究チームが40～59歳の約9万人の女性を対象に調査したところ、マンモグラフィーを受けた人と受けなかった人で乳がん由来の死亡率に差はなく、22%が過剰診断された可能性が高いと、プリティッシュ・メディカル・ジャーナルに発表。

昨年には、米ダートマス大学の教授らがニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディシンに論文を発表し、1975年から2012年までの間に乳がんとして診断された40歳以上の女



### トピックス (主要)

- [台風11号 西日本で災害級大雨恐れ](#)
- [離婚後親権の試案先送り 自民反発](#)
- [国の1/3冠水 パキスタン人ぼう然](#)
- [日本ロジステックが民事再生](#)
- [不登校新聞「悩むなら読んで」](#)
- [GUCCI パロディに異議申立も失敗](#)
- [肺がチーズみたいに 箕輪語る結核](#)
- [蛭子能収 認知症で前衛的な画風に](#)

### 個人アクセスランキング

- 1 [人気のハラミは肉じゃない？ 今さら聞けない焼肉の秘密](#)  
 山路力也 8/29(月) 15:09
- 2 [人件費を減らせて儲かるから？ ホテルが朝食でbuffet・バイキングを行う本当の理由](#)  
 東龍 8/28(日) 16:33
- 3 [台風11号は顕著に発達し沖縄近海へ、かなり気がかりな海水温の高さ](#)  
 杉江勇次 8/29(月) 10:29
- 4 [上海でロリータファッションをする50代の中年女性がSNSで賞賛されている、ある理由](#)  
 中島恵 8/28(日) 14:22
- 5 [夏休みの自由研究におススメ！『走れメロス』の友情の走りを科学的に考えると……!?](#)  
 柳田理科雄 8/29(月) 9:00

性のデータを調査したところ、マンモグラフィーの導入後、小さい腫瘍の検出件数は倍増し、大きい腫瘍の検出件数は半減、乳がん由来の死亡率は2/3に減少したが、死亡率減少の理由はマンモグラフィーの効果よりも治療方法の改善に因るところが大きく、大きい腫瘍が半減したのは、検出された小さい腫瘍が過剰診断・過剰治療された結果であり、治療すべき腫瘍の数は導入前後で変わっていないとしています。

こうした研究結果に反論する医師や医療団体は少なくなく、マンモグラフィーを受診する人が減り、助かる命が減ってしまう可能性を懸念しています。

## 政府機関の指針変更が議論の引き金に

議論が活発になったのは、2009年に米政府の独立機関である予防医学作業部会が、マンモグラフィーの推奨受診対象を“40歳以上・年一回”から“50～74歳・2年に一回”に引き上げたことがきっかけとされています。

昨年、同作業部会は再びガイドラインを更新。新ガイドラインでは、推奨受診対象は変わっていないものの、40代女性が受診する場合は特に効果と弊害のバランスを各人が十分検討すべきとの内容が加わりました。また、超音波やMRIなど乳腺密度が高い人向けの検査法や3Dマンモグラフィーやデジタル・トモシンセシスなどの新技術に関しては、十分な証拠がないため推奨も反対もできないとしています。

更新と同時に、マンモグラフィーの効果と弊害に関する研究結果も医学誌に発表。論文では、陰性なのに陽性の可能性が疑われる“偽陽性”のケースが若い世代で非常に多く、それに伴う不必要な生検や心的ストレスがあることを指摘。年齢問わず、害のない非進行・進行がんを乳がんと診断される過剰診断、それに伴う過剰治療などのリスクがあることも記載されています。一方、効果に関しては、50歳以上の進行がん削減効果は認められるものの、死亡率削減に関する効果は全年齢で低く、10年間マンモグラフィーを受けた女性1万人のうち救われた命は、40代では3人、50代では8人、60代では21人、70代では13人としています。

## 権威ある団体も追随

こうした動向を受け、マンモグラフィーの受診を強く推奨してきた米国がん協会は、2015年に受診対象を“40歳以上・年一回”から“45～54歳は年一回、55歳以上は2年に一回”に変更しています。

同協会の最高医療責任者であるオーティス・ブローリー医師は、前述のデンマークの論文を受け、「乳がん過剰診断の存在を受け入れる」と題する意見論文を同医学誌に発表。過剰診断に関する論文が多数あることを認めるものの、分析手法により比率が異なることを指摘。受診者の半数以上が過剰診断されているとする論文もあるが、15～25%とする分析が多いと記しています。

その後のメディア各社の取材に対し、同医師は、マンモグラフィーに効果があることを強調しつつ限界も認めています。現時点では検出した腫瘍がその後進行するか否かを医師が判断することは不可能とし、将来的には遺伝子検査などにより適切に判断できるようになり、過剰診断が減るだろうと語っています。NBC局の取材に対しては、「たとえ治療の必要がない人に治療することになっても、マンモグラフィーによって救える命はある」のだから、マンモグラフィーを軽視すべきでないと語っています。



[↑ ページ上部へ戻る](#)

恐らく、過剰診断・過剰治療は医師の間では暗黙の了解だったのでしょうか。不要な手術や治療を覚悟のうえで乳がんリスクを最小限に減らすことを望むのか、乳がんリスクを覚悟のうえで不要な手術や治療を避けることを望むのか、各人が考え、答えを出すしかありません。マンモグラフィーで命が救われたと考えられているケースの中には、本来必要のない手術や治療をただけだった可能性があるというのは受け入れ難いことですが、医療に限界がある以上、仕方ありません。少なくともこうした情報が開示され、選択肢が得られたのは望ましいことではないでしょうか。

いずれの研究結果も、マンモグラフィーの効果が無いとしているわけではありません。一般に想定されているほど効果は高くなく、弊害があること、現在の医療には限界があることを示しているのであり、これらを認識したうえで受診や手術・治療に臨むか否かを各人が判断すべきということです。

死は誰にでもいつか必ず訪れるものです。それがいつなのか、どのような形なのかは誰にもわかりません。私たちにできるのは、過度に死を恐れず、命ある限り体を大切にしながら人生を全うすることではないでしょうか。



田中めぐみ  
米環境・社会問題研究者

米ニューヨーク在住、米環境・ソーシャルビジネス・政策の研究・コンサルタント。ハーバード大学エグゼクティブエデュケーション サステナビリティリーダーシップ修了。慶應義塾大学商学部卒業後、経営コンサルティング会社アクセンチュア勤務を経て渡米。ニューヨーク州立ファッション工科大学卒業後、02年米国にて起業。当初米小売・ファッション市場の調査・コンサルティングを行うが、社会課題解決の必要性に目覚め、以来持続可能な社会の実現に向けて取り組む。著書『サステイナブルシティ ニューヨーク』『グリーンファッション入門』(織研新聞社)、共著書『エコデザイン』(東京大学出版会)、訳書『ターゲット』(商業界)。

## 田中めぐみの最近の記事

[もっと見る](#)



アメリカで需要急増中の「代替肉」、肉市場を席捲するか

2020/9/11(金) 9:00



新型コロナウイルス感染拡大、米ニューヨークで何が起きているのか

2020/3/30(月) 9:02



米国で電子タバコによる死者急増、背後に潜む様々な社会問題

2019/11/15(金) 9:00



懸念されるアパレル労働者の安全性、欧米企業によるバングラデ...

2018/12/26(水) 12:00

## あなたにおすすめの記事



iPhoneにバッテリー残量表示機能が帰ってくる？ iOS 16ベータ版で復活が確認される

篠原修司 8/30(火) 21:31



ウクライナ空軍がMiG-29戦闘機によるAGM-88対レーダーミサイルの使用映像を公開

JSF 8/30(火) 20:59



中国人経営者が稲盛和夫氏を尊敬する理由 著書は書店に平積み、大ベストセラーに

中島書 8/30(火) 20:12